



2014.3.23-3.30

第6回台南市青少年訪問団

報 告 書

主催：公益財団法人 仙台国際交流協会



目 次

ごあいさつ.....	1
実施概要.....	2
団員名簿.....	3
行程表.....	4
訪問先地図.....	5
事前・事後研修会レポート.....	6
プログラム内容.....	7
活動班紹介.....	12
団員レポート.....	20
ボランティア活動報告.....	32
フォトアルバム.....	35
台南サポーターからのメッセージ.....	38
日本人サポーターより.....	42
同行者より.....	43
編集後記	

ごあいさつ

第6回の台南市青少年訪問団は、高校生26名、大学生サポーター2名、同行職員2名の計30名が参加し、2014年3月に実施されました。

今回の訪問中は、天気にも恵まれ、充実した1週間を過ごすことができました。奇美グループのスタッフや、台湾人学生サポーターに迎えられ、念入りに準備していただいた様々なスケジュールを精力的にこなしました。

特に、初めての取り組みでもある福祉施設でのボランティア活動に向けては、事前研修でアイディアを出しあい、準備を重ねました。ハンディキャップを持つ方々と一緒に、ちらし寿司やずんだ餅をつくって食べ、ゲームを楽しみました。それぞれが自分の役割を果たして交流会を成功させ、施設の方々に喜んでいただいたことは、団員にとって貴重な経験となったようです。訪問団の目的の一つに、台南市民の皆様へ感謝の気持ち伝えるということがあり、こうした場を設定していただいたことに感謝しています。

また、前回に続いて、先住民ブヌン（布農）族の村を訪問し、近くの小学校を訪れ、子ども達と一緒にミニ運動会に参加しました。日本統治時代を含む歴史についての講義を受けたり、夜にはブヌン族の芸術として知られている8部和音の合唱を披露していただきました。

奇美グループの方々が、季節等を考慮しながら、毎回、内容や訪問先を少しずつ変え、訪問団の滞在が一層充実したものとなるよう、ご配慮いただいていることに改めて感謝申し上げます。

最後になりましたが、今回も、事業実施にあたりご尽力いただいた奇美グループや財団法人樹谷文化基金会の皆様、お世話いただいた学生サポーターの皆様、その他、多くの方々に心から感謝申し上げます。

平成26年11月

公益財団法人仙台国際交流協会

台南市青少年訪問団について

仙台市と友好交流促進協定を結ぶ台湾の台南市では、東日本大震災の直後から、「送愛到仙台（仙台に愛を送ろう）」の名のもとに活発な募金活動が行われ、また、台南市に本拠地を置く奇美グループがスポンサーとなり、「復興を担う人づくりこそ経済的支援にも勝る最も確かな支援である」という考えのもと、3年間で約300人の仙台の青少年を台南に招待するプロジェクトが生まれました。

これを受け、仙台国際交流協会では平成24年2月の第1回訪問団派遣を皮切りに、5回の派遣で計147名の学生が台南市を訪問しました。現地滞在中は、奇美グループ職員の方々や、日本語を学ぶ台湾人学生のサポートを受けて、様々な交流事業に参加しています。

実 施 概 要

仙台市と交流促進協定を結ぶ台南市に青少年を派遣し、現地の青少年との交流や台南市内の見学、日本文化の紹介などを通して、異文化理解を深める機会とする。また、震災後にいただいた支援への感謝や、現在の仙台の状況を伝える機会とする。

1. 訪 問 先 台湾 台南市および近郊
2. 実施時期 2014 年 3 月 23 日（日）～3 月 30 日（日） 7 泊 8 日
3. 主 催 公益財団法人仙台国際交流協会
4. 協 力 仙台市、台南市
5. 後 援 仙・台友好交流促進協会
6. 参加人数 青少年 26 名 サポーター2 名 同行者 2 名
7. 募集対象 仙台市内にお住まいか通学している高校生または高等専門学校生（1～3 学年）
で、下記の条件を全て満たす方

- 1 学生であること
- 2 心身ともに健康であること
- 3 日本国籍を有すること
- 4 国際交流、異文化理解に関心があり、訪問の趣旨を理解・賛同し、団体行動に参加可能であること
- 5 定められた日程・旅行条件で参加できること
- 6 東日本大震災での経験を踏まえ、台湾の方々に仙台の元気や、感謝の想いを伝えることができること
- 7 事前・事後研修（全 5 回程度）に参加できること
- 8 平成 23～25 年度に仙台国際交流協会が主催した海外派遣事業に参加していないこと
- 9 保護者の承諾が得られること

8. 事前研修

- 第1回目 2014 年 1 月 19 日（日）：訪問団の概要説明、仙台市と台南市の関係について
第2回目 2014 年 2 月 9 日（日）：台湾の文化、生活習慣について、事前学習課題の発表
第3回目 2014 年 3 月 9 日（日）：「台湾の歴史と社会の概論」の講義、中国語ワンポイントレッスン、スケジュールの最終確認、ボランティア活動に向けた準備

9. 事後研修

- 2014 年 4 月 13 日（日）：アンケート記入、訪問の振り返り、報告書作成

●青少年訪問団名簿

★男3名、女23名 計26名

	名前	ふりがな	性別	学校	学年
1	阿部 珠希	あべ たまき	女	仙台東高等学校	2
2	天野 桃花	あまの ももか	女	仙台二華高等学校	1
3	一ノ瀬 幸帆	いのせ ゆきほ	女	仙台育英学園高等学校	1
4	大條 瑞希	おおえだ みずき	女	常盤木学園高等学校	3
5	木下 黎泉	きのした れい	男	東北学院榴ヶ岡高等学校	1
6	栗原 佑果	くりはら ゆうか	女	宮城野高等学校	1
7	今野 有香	こんの ありか	女	仙台育英学園高等学校	3
8	今野 若奈	こんの わかな	女	仙台向山高等学校	2
9	齋藤 菜々子	さいとう ななこ	女	仙台白百合学園高等学校	2
10	佐々木 絵理	ささき えり	女	聖ウルスラ学院英智高等学校	1
11	佐藤 華織	さとう かおり	女	常盤木学園高等学校	2
12	佐藤 健伍	さとう けんご	男	泉高等学校	2
13	佐藤 凧紗	さとう なぎさ	女	仙台育英学園高等学校	1
14	佐藤 広崇	さとう ひろたか	男	仙台第三高等学校	1
15	中鉢 萌寧	ちゅうばち もね	女	東北学院榴ヶ岡高等学校	1
16	中澤 恵	なかざわ めぐみ	女	仙台白百合学園高等学校	2
17	中野 百紅	なかの ももこ	女	仙台白百合学園高等学校	3
18	蜂谷 麻衣	はちや まい	女	仙台第三高等学校	2
19	日野 友香	ひの ともか	女	尚絅学院高等学校	2
20	平山 りの	ひらやま りの	女	常盤木学園高等学校	1
21	三浦 梓香	みうら あすか	女	仙台育英学園高等学校	3
22	安田 愛	やすだ あい	女	仙台第三高等学校	1
23	山内 乃子	やまうち のこ	女	仙台白百合学園高等学校	2
24	山本 蒔	やまもと ふき	女	仙台第二高等学校	1
25	和田 遥花	わだ はるか	女	聖ウルスラ学院英智高等学校	1
26	渡邊 絢香	わたなべ あやか	女	仙台東高等学校	2

●サポーター

1	菊地 佑香	きくち ゆか	女	宮城学院女子大学	2
2	渡邊 成	わたなべ じょう	男	宮城教育大学	3

●同行職員

1	菊池 哲佳	きくち あきよし	男	(公財)仙台国際交流協会 総務企画課企画係
2	熊田 夏希	くまだ なつき	女	(公財)仙台国際交流協会 総務企画課企画係

第6回 台南市青少年訪問団行程表

日次	日にち	都市	移動手段	時間	行程	食事	宿泊先
1	3/23(日)	仙台	仙台空港	13:30	仙台空港	各自 ○	樹谷会館
		仙台-台北	飛行機 BR117	16:15発 - 19:30着	仙台空港⇒桃園空港(台北)		
		台北-台南	専用バス	20:30-24:00	桃園空港⇒樹谷会館		
2	3/24(月)	台南市	専用バス	8:00-8:30	朝食(樹谷会館)	○	樹谷会館
				8:30-10:00	学生同士の交流&樹谷の案内		
				10:00-10:30	移動		
				10:30-12:00	古跡-安平古堡		
				12:00-13:20	昼食 安平老街(台湾式屋台)		
				13:20-13:50	移動	×	
				13:50-15:30	古跡-赤崁樓		
				15:30-15:40	移動		
				15:40-17:30	古跡-孔子廟		
				17:30-17:50	移動		
17:50-18:30	夕食(ショーロンポー)	○					
18:30-19:20	移動						
19:20-22:00	台日交流パーティー						
3	3/25(火)	台南市	専用バス	8:00-8:30	朝食(樹谷会館)	○	樹谷会館
				8:30-9:00	移動		
				9:00-11:30	ボランティア活動		
				11:30-13:00	昼食DIY	○	
				13:00-14:00	移動		
				14:00-16:00	成功大学キャンパス巡り		
				16:00-20:30	台南市 自由行動(長榮高校16:30)	×	
20:30-21:30	移動						
4	3/26(水)	台南市	専用バス	8:00-8:30	朝食(樹谷会館)	○	先住民の村
		8:30-12:00		移動			
		南投県		12:00-13:30	昼食(先住民のオリジナル料理)	○	
				13:30-18:00	南投県 先住民の生活体験		
				18:00-19:30	夕食(先住民のオリジナル料理)		
19:30-21:30	先住民パーティ	○					
5	3/27(木)	南投県	専用バス	8:30-9:00	朝食	○	樹谷会館
		9:00-11:30		先住民生活体験			
		台南市		11:30-13:00	昼食(先住民のオリジナル料理)	○	
				13:00-18:00	移動		
				18:00-21:00	花園夜市		
				21:00-22:00	移動		
6	3/28(金)	台南市	専用バス	7:00-7:30	朝食	○	樹谷会館
				7:30-8:30	移動		
				8:30-10:00	烏山頭ダム		
				10:00-10:30	移動		
				10:30-12:30	菁寮老店巡り+粽DIY		
				12:30-13:30	昼食(粽)	○	
				13:30-14:30	移動		
				14:30-17:30	台湾茶道体験		
				17:30-18:30	移動		
				18:30-19:30	夕食(樹谷会館)		
19:30-22:00	活動の感想、交流・感謝カードを作る	○					
7	3/29(土)	台南市	専用バス	7:50-8:10	朝食	○	空港近ホテル
				8:10-8:30	移動		
				8:30-10:00	大洲地区		
				10:00-10:30	移動	○	
				10:30-11:30	海		
				11:30-13:00	移動		
				13:00-14:30	昼食、交流会準備	○	
				14:30-18:00	お別れ交流会		
				18:00-19:00	夕食(樹谷会館)		
				19:30	移動	○	
				20:49-22:14	台南駅→桃園駅		
				22:30	ホテルへ		
		8	3/30(日)	台北市	専用バス	5:00	
台北-羽田	飛行機 BR192			7:30-11:15	松山空港→羽田空港		
羽田-仙台	専用バス			12:00-17:00	羽田空港→仙台駅		
仙台	各自			17:00頃	解散		

□台南市

台湾の古都。オランダ人支配の後、明の鄭成功支配時代や清王朝時代は台湾の首府となり、政治・経済・文化の中心地でした。その後、日本の占領統治時代を経て、現在は、台湾第4の都市となっています。人口は、約188万4千人（2014年12月現在）

仙台市とは、七夕を通じた市民交流の高まりを契機に2006年1月20日に交流促進協定を締結し、活発な市民交流が行われています。



事前・事後研修

◆事前研修

	日時	内容
第1回	1月19日(日) 13:00～ 17:00	・(公財) 仙台国際交流協会の事業説明 ・訪問団の概要説明 ・仙台市と台南市の交流経過について ・海外渡航に関する説明 ・出し物などに関するチーム分け、話し合い
第2回	2月9日(日) 13:00～ 18:00	・台湾の文化、生活習慣について 講師 王昱強 氏 ・事前学習課題の発表 ・烏山頭ダムに関する映画:「パッテンライ ～南の島の水物語～」上映会
第3回	3月9日(日) 13:00～ 17:00	・講義「台湾の歴史と社会の概論」 講師 宮城県仙台第二高等学校 小林康一 氏 ・中国語・台湾語 ワンポイントレッスン 講師 蕭舒文 氏 ・スケジュール最終確認 ・報告書について ・出し物などの準備、打ち合わせ など

参加者コメント

初めて会うまでは、どうやってみんなと仲良くなれるのかと日々悩んでました。楽しみな気持ちと不安な気持ちが入り交じりやってきた事前研修。緊張して最初はみんなと敬語で話してました。しかし何度も会うにつれて、いつの間にか変顔を見せ合う仲になりました。このような新しい環境のもとで養われたものはたくさんあります。この経験を今後の生活に役立てていきたいです。(佐藤健伍)

◆事後研修

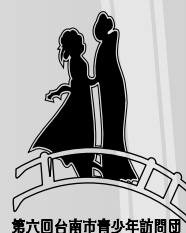
	日時	内容
事後研修	4月13日(日) 13:00～ 17:00	・ツアーの振り返り ・アンケート記入 ・報告書作成について など

参加者コメント

楽しかった台南訪問団もこれをもって集まることはないのだと思うととても悲しくなりました。まだ20日もあってないというのに、ずっと前から知り合いだったような仲になっていることに驚いています。この出会いに感謝して、今後もこのつながりを大切にしたいと思います。(山内乃子)

台南市青少年訪問団 報告書

プログラム内容



第六回台南市青少年訪問団

第六回台南市青少年

3/23

仙台空港に集合。台湾に向けて出発！



いざ台湾へ出国っ！



まだまだ緊張の面持ち…



いってきます！

沢山の人の出迎えを受け、入国！

夜なのにテンションMAX!



においが違う!!!



これぞ台湾の夜景!!

3/24

午前：樹谷の案内、安平古堡見学！



安平蝦捲おいしかった♪



レンガ造や砲台をみれた



赤いレンガが目立つ古城

午後：赤崁樓、孔子廟見学！



赤崁樓で学問の神様にお祈り



立派な建物に圧倒された!!!



行く途中にもたくさん…

夜：台日交流パーティー！



距離がぐっと近くなった！



覆面集団にドキドキ



サポーターと仲を深められた

3/25

午前：ボランティア活動



交流のコツは笑顔！！



努力の結晶 ずんだ餅



やり遂げた後はお腹ペコペコ

午後：成功大学キャンパス巡り

とても大きなキャンパス！！



学生さんがとても優しくった～

とても広くて驚いた！



3/26

午前：移動

午後：南投県 先住民の生活体験

ずっと山が続きます。



休憩でこんな壮大なトイレへ



小学生とリレー！ダッシュ！

夜：先住民パーティー

八部和音、鳥肌立った



イノシシは歯ごたえよし



新鮮な光景に一同唖然…！

3/27

午前：先住民生活体験

ブランコで遊ぶ熊田さん♡



石板造りの家に感動した！



梅の実を摘むナカメちゃん



不思議なコオロギと鴨の血



夜：花園夜市へ



強烈な臭いを放つ臭豆腐



3/28

目の当たりにした
八田さん



午前：烏山頭ダムへ



貴重なひろたかスマイル！

日本と台湾の架け橋の一つ！



午前：台湾茶道体験



まずは香りを楽しむ・・・



美味なお茶とお菓子で幸せ♪



台湾のアーティストとセッション

3/29

午前：大洲地区、海



エコなトイレを見学



さすが南国の空。美しい。

この時期の海は最高だった♪



午後：お別れ交流会



残り僅かな時間をいとおしむ



また皆に会いたい！



ついにお別れの時・・・

夜：お世話になった皆さんに見送られ台北へ出発。

また会いましょう謝謝



お別れするのが辛かった…

必死に涙をこらえて。

3/30

出国：松山空港より羽田空港へ向けて朝出国



サポーターとの最後のお別れ



帰りたくないー心でした……



すごい切ない気持ち(;▽;)

帰国：8 日間のプログラムを終え、全員無事に帰国しました。

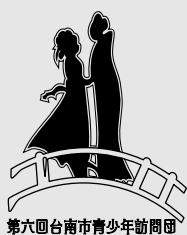
仙台駅を見て帰国を実感！



成さん、ゆっこさん、
ありがとうございます！



再会誓い 日常へ



台南市青少年訪問團 報告書

活動班紹介

第六回台南市青少年



烏山頭ダムにて、八田与一の像とともに記念撮影。みんなで八田与一ポーズ！・・・って、皆さん、みずき先パイの綺麗な足に見とれないでください(;・д・´)



夜市では、4人でおそろいのパンツを買いました！！コウさん、値段交渉ありがとうございました！(*^^*)



コウさんに指輪を貰った後の、行程中最もきらきらしたわたしたち(^^♪



第1組

152公分

〈メンバー〉

- ・大條瑞希 Mizuki Oeda
- ・天野桃花 Momoka Amano
- ・安田 愛 Ai Yasuda
- ・中澤 恵 Megumi Nakazawa

〈サポーター〉

- ・高 蜜饒 コウさん♡

〈個性豊かなメンバーたち〉



コウさん 台湾のジェントルマン！コウさんの優しさに私たちは終始感動しました☆笑顔がキラリなコウさん、この絆、指輪と国境を越えて不変のものですよ～！！



みずき先パイ 東洋に浮かぶ真っ赤なルビー、その美貌と存在感は一班に輝きをもたらしました！天性の変顔能力は台湾のどこでも発揮されましたねw



あまちゃん 頭脳派だけど歌、歌えます絶対音感あります！モードは多彩、変幻自在かつ音楽的感覚で台湾の大地を踏みしめました。



あいちゃん 黒縁メガネの奥が光ると発動するあいちゃんの本姓（笑）真面目と変態のギャップには国籍を問わず誰もが裏切られるでしょう。



なかめちゃんせんぱい バレエ界から躍り出た姿勢の良すぎる気遣いお姉さん♡会話の中でつい語ってしまうところも、「なんか」が多いところも大好きです！

我們是152女孩！



「なんか、一班みんなちっちゃくないですか？」初日、空港でのひよんな一言からそれは発覚した。なんと、一班は全員身長が152cmだったのだ。(コウさんを除く)

The second group

我が 2 班はご存知の通り個性が強く自由すぎる班です。最初は不安もありましたがみんなメリハリがありっ
かりしていて本当に 2 班でよかったなと思える 1 週間でした！とりあえずノリが良すぎて、ギャグ線が高すぎた
わけで、笑いによって腹筋が引き締まったようにも思います(*▽*)♡

海では夜市の時に色違いで買ったショートパンツ
をはきました！

ティファニーは iPad を握りしめていたため海に突き
落とせませんでした（笑）

最終日はとても暑かったため気持ちよかったです！！
このあとのお別れ会ではみんなが別れを惜しんで泣い
てしまいました(´；ω；`)



夜市では臭豆腐を美味しいとばくばく食べた
りのとティファニー

ゆっぽとまいは匂いからダメでした・・・
あとは常に Wi-Fi さがしてたよねー(へへ)/

古跡の説明をはやく聞いて一刻も早く買い物に
行きたそうな私たちにキノコは神経をヒヤヒヤ
させたことと思います！
本当に 1 週間ありがとうキノコ！



いろんな所に行くたびに
変顔を撮りまくりました！
ティファニーの iPad 大活躍

全体のサポーターである
柏霖に絡み、バスで告白
ゲームをしたり
しました！
ちゃらりん謝謝(´▽`)

Rino☆

あだ名はパトラ。ものすごく
美人なのに変顔が恐ろしい。
どこか抜けている！

Yukiho☆

いつもニコニコ元気少女
スカートは着ない！

Kinoko☆

しっかり者で真面目。
寝起きは機嫌悪い！

Mai☆

生物部の理系女子
夜のテンションが高い！

Tamaki☆ティファニー

小さいけど姉御的存在！
外国慣れしてる。美人でオ
シャレ。自由奔放！



ともぴー



・笑顔が素敵！そしてカーティンを言葉で攻めるまさかのDSには驚いた byふっきー
 ・カーティンから熱心に中国語を習う姿が印象的でした。By きのぴー
 ・面白いことを見つけては話してくれてありがとう by もこ
 いろんな物をみんなで食べたり沢山写真を撮ったり、とっても楽しい班でした！



もこ

・インカメの達人！ほんわかした雰囲気癒されていました^^byふっきー
 ・頼れるお姉さんの存在でした。それとカメラが気になります...。Byきのぴー
 ・しっかり者のお姉さんでした！Byともぴー
 和やか3班のみんなと過ごした毎日は、最高の思い出です(^o^)
 今、振り返ると自然に笑みがこぼれます♡
 みんなとの出会いに感謝！

3班



ふっきー



・「変顔大将」今思えば、ふっきーから変顔のヒントをもらったのかも！Byきのぴー
 ・コオロギを食べた時の表情すごく良かった笑 by ともぴー
 ・ふっきーの小龍包店での変顔は一生忘れないよ byもこ
 何処かへ行く度に「写真のポーズ何にする？」って話し合ってた3班。後から写真を見返すとジャンプが多かったかな！
 心に残る一週間を3班で過ごせて幸せでした！



きのぴー

・同学年とは思えないほど大人っぽい！だんだんキャラ崩壊してたね。
 ナイス変顔だったよ！by ともぴー
 ・変顔最高(L_`)
 ・ビデオ撮ってる時はお父さんの存在になってたね笑 byもこ
 カーティンの日本語はとてもきれいでした。
 3班は大きな問題もなく、今ではあの頃のあたたかさ(気候も人も)を懐かしく思う日々... 謝謝3班！

*いろんな事を教えてくれた！
 謝謝！ともぴー

*3班だけじゃなくて6期
 みんなの自慢のサポーターだよ
 ふっきー



*何でもできるカーティン！
 日本で待ってます(^_^)もこ

*流暢な日本語&ウィンクが
 素敵でしたよ！きのぴー

謝謝！ 台南 謝謝！ 3班



4班

4班は個性豊かでとても明るい班でした！(特にしょうたばんw)それに1番食べてる班だったと思います♪特に夜市では※1 鴨血を食べたり、苺飴、臭豆腐などバクバク食べました笑

お買い物と食べる事が大好きだった4班！小龍包を食べた時の勢いはどの班にも負けないくらい早かった。笑
4班サイコーでした！

1週間1日1日が充実してました！学年関係なくみんなと仲良くできて本当に良かったです♪
研修中にお酒を飲むしょうたばんは嫌いだけど行きたい所全てに連れてってくれるしょうたばんはすごい輝いてました！
みんなありがとう♡





ついに台湾サポーターとの初対面！と、思ったら全身を覆い隠したサポーターの中から、各班に付くサポーターを当てるゲームをすることに！そして、首の細いキナを5班で見つけ出しました！

Byありちゃん

私たちが観光したのは安平古堡、赤崁樓です。どれも非常に魅力的なものでしたが、特に印象に残ったのは赤崁樓でした。赤崁樓はオランダ人によって建てられた城であり台湾の観光名所です。ここにある文昌閣には学問の神様が祭られており、多くの絵馬が掲げられていました。私たちもお参りをしてきました。どうか願いが叶いますように。

Byひろたか



夜市！夜なのに凄く明るく賑やかで沢山の人がいました！5班は5飯...？だからかひたすら食べ物めぐりをしました♪辛かったけど案外食べれた鴨の血やエッグタルト、タピオカミルクティーなどおいしい食べ物が沢山ありました！女子が群がっているところに行ってみると練香水のお店が♡見た目もとっても可愛くて3つもGETしちゃいました(*^ ^*)

Byもっち～

キナのおかげで本当に楽しい一週間だったよ。キナは日本語がすごく上手で日本の事も沢山知っててびっくりだった！私達が質問するとどんなことでも詳しく分かりやすいように説明してくれたね。そんなキナの姿を見て台湾の歴史、文化、食べ物にますます興味を持つようになったよ☆今度は仙台の良いところを沢山案内してあげるよ！また会おうね♡キナ謝謝！

Byかおりん



謝謝台南！

GROUP 5

今野有香(あいちゃん) 佐藤広崇(ひろたか) キナ 佐藤華織(かおりん) 中鉢萌寧(もっち～)

「姉さん！」と後半では呼ばれていた高校三年生あり姉さん。部屋の鍵が無くなって皆で大搜索。「あっ…ポケットの中にあった…」。姉さんはやっぱりさすがです。まさかすぎました。笑。最後に…「有香はセクシー♪」忘れません。笑。ムードメーカーな姉さんと同じ5班で嬉しかったです！ありがとうございました♡
(もっち～)

ひろたかは常に後ろの方で黙って立っているから、あれ、ひろたかどこ！？って何度もなりました笑そんなひろたかをみんなでイジるのは楽しかったー！仙台でバツリ会っても無視しないでね♡
(あいちゃん)

佐藤華織さんは明るく思いやりのある人です。また、班のリーダー的存在として先頭に立って活動をしていました。
(ひろたか)

6期の団長でありツインテールが似合うもっち～！絵もダンスも上手いもっち～はみんなの尊敬の的だよ！そして5班のなかで1番胃袋大き目。見た目とのギャップは忘れない(笑)広崇が小食すぎただけかもしれないけど…おそろびで買ったブレスレットは一生の宝物だよ☆
(かおりん)



六班

佐藤

今野

佐藤

楊以琳

健伍

若奈

風紗

ひとみ



ひとみはすごい物知り！！というか、このためにすごく勉強したんだろうね・・・それに同い年とは思えないほど日本語が堪能で、みんな最初は大学生なのかと勘違いしてたよ・・・



サポーターのユキとは同じ学校でさらにクラスメイトらしく、いろんなところを見学するときにも一緒にまわっていろいろなことを教えてもらいました
あらためてユキにも感謝！！

台湾のことをたくさん教えようと一生懸命話しかけてくれてみんな台湾のことについていろんなことを学べた！いつもみんなのことを考えてくれて一緒にいる時間がとても楽しかったよ。ありがとう！！！！



❄️ 7班 ❄️

ななこっぴ
(齋藤菜々子)
我想去台灣的大學！

えりちゃん
(佐々木絵理)
柏霖大好き♡♡♡

ユキちゃん
(吳思慧)
我喜歡日本的動畫☆

あや/あやまる
(渡邊絢香)
英語なら任せて！



◇7班のワクワクおもしろエピソード◇

～夜市～

コオロギと鴨の血のスープを食べた！意外と美味しく不思議な触感と味で一生忘れない！！それから、えりちゃんが柏霖に臭豆腐を“あ～ん♡♡”って食べさせたのを見て大騒ぎの7班と成さんでした^^嶋田さんは鴨の血をこぼしたり、とにかく愉快的な夜でした(笑)

～活動中～

ユキちゃんに中国語を教えてもらった★聞いては忘れての繰り返しの中で一生懸命教えてくれたおかげで少し覚えることが出来た～！

台南市自由行動では柏霖とゆっこさんも一緒に回ることに！最初は緊張して柏霖と話せなかったけど、だんだん打ち解けられたよね！その夜は柏霖がチョイスしたスマホカバーをお揃いで購入♡それは一生の宝物です♡♡♡柏霖とゆっこさん、一緒に悩んでくださりありがとうございました～！

最後に…私たちのmotto→ My face is not big face, It's baby face!



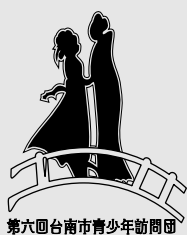
／サポーター同士も仲良し6班と♡\ 成功大學的圖書館

ユキちゃん♡！

1週間たくさんの事を教えてつつお世話してくれてありがとう！疲れていても私の話を聞いてくれて、一緒に楽しんでくれてありがとう！！大好きだよ～（あや）

我一定想去台灣的大學～所以那的時候請多多指教！（ななこっぴ）

ユキちゃん大好き！！8日間とっても楽しかったよ☆仙台に遊びに来てね♡（えり）



台南市青少年訪問団 報告書

団員レポート

第六回台南市青少年

阿部 珠希 仙台東高等学校 2年

第6回台南市青少年訪問団に参加させて頂く際、不安と期待を抱えながら訪問に向けて準備を進めていました。過去に海外研修等でアメリカや韓国を訪れた際は、ある程度自信のある語学力で現地を訪問していましたが、今回の台湾訪問では語学力については自信がありませんでした。中国語のバラエティや C-POP で独学を進めてきた中国語、台湾中国語については未知の領域でありその分過去の訪問に比べてより不安を感じていました。しかし、現地到着後は台南の現地サポーターやスタッフの方々に支えられ言語の壁を感じることなく、人と人の交流を楽しむことが出来ました。

障害を抱えた方々とは言葉を使わずとも身振り手振り、そして何より心で伝える事で、よりこの交流の奥深さを感じました。観光では味わえない、この台南市青少年訪問団だからこそ経験できる魅力がつまみついて、訪問団を通して出来た友人、得た友情。これはこれからも私自身の大きな力となると思います。この訪問団に参加出来たことを誇りに思うと同時に本当に感謝しています、ありがとうございました。またいつか台湾にいる友人を訪ねる際は、この訪問団の話、今迄の生活の話、沢山の事を今度は中国語で是非話し合いたいです。皆さん大好きです、我爱你。再见，掰掰



天野 桃花 仙台二華高等学校 1年

一期一会という有名な言葉がある。「茶会に臨む際には、その機会是一生に一度のものと心得て、主客ともに互いに誠意を尽くせ」ということを指すが、私は今回の台湾訪問団を通して、深くその言葉を会得した。訪問団参加者や、サポーターの方々、そして台湾で出会ったサポーターさんをはじめとする現地の人々、すべての出会いに私は心からの感謝を送りたいと思う。人との巡り合わせは何気ないものでも、ときには人生に影響を与えるものがある。台湾という異国の地で、一週間という短期間の中で、あれほどの絆が生まれ、結びつきが強まったことは私のこれからの未来に大きく影響するだろう。出会いに恵まれ、あの場で非常に有意義な時間を過ごしたことは一生忘れない。また、意欲的で勉強熱心なサ



ポーターの皆さんに感化されて、学ぶ姿勢も見習わなくてはと思う場面も多々あった。様々な場で日本では知り得なかったことを学ぶことができた。

心の中にとりわけ輝いて存在しているあの一週間を胸に留め、これからの生活の中で誠心誠意過ごしてゆきたいと思う。
(台湾のお茶、即興で歌った「千の風になって」、小学生の素晴らしい合唱もまさに一期一会ですね。)

一ノ瀬 幸帆 仙台育英学園高等学校 1年

私は今回の台湾研修で学んだことは、人とのコミュニケーションの取り方です。これは DIY で学びました。

私は DIY でちらし寿司作りを行いました。ちらし寿司では主にきゅうりの千切りと、ご飯とちらし寿司の元の混ぜ合わせを行いました。この2つの中でもきゅうりの千切りで、私は、コミュニケーションは言葉だけでなく行動で取れることを知りました。それを同じグループの方がパートナーの方とやって行っていました。それは、きゅうりを千切りを終えた後のハイタッチです。このハイタッチには、”お疲

疲れさま”” ありがとう” という意味が込められていると感じました。

ハイタッチは、今回の研修のように言葉を使えないとき、または、小さい子たちとのコミュニケーションを取るときに有効だと思います。手を広げて、相手に微笑むこと、それだけで会話を行うことができます。

これから私は、留学に行きます。今の私にとってハイタッチは、コミュニケーションを取るときに必需品です。留学先でもたくさんのコミュニケーションをとるためにハイタッチを使っていきます。



大條 瑞希 常盤木学園高等学校 3年

私は今回の訪問中に、三つの課題を持って過ごしました。一つ目は、台南の文化を素直に受け入れること、そして日本の文化を紹介することです。見た目や匂いに抵抗のある食べ物でもまずは挑戦してみたり、生活習慣も現地の方に合わせたりしました。また、台南の方や各班のサポーターに日本文化について聞かれた時には丁寧に正確に答えるように班のみんなと話し合いながら紹介することができました。二つ目は、中国語を少しでも覚えて実際に使うことです。中国語の会話を聞いていてよく聞く単語



やフレーズがあったら、サポーターに意味を聞いてみたり、お店で実際に中国語で商品の値段を聞いてみたりと、積極的に学ぶことができました。三つ目は一番の目的である、台南の方々に震災の際に支援して下さったことに対して感謝の気持ちを伝えることです。中国語を使えない私でしたが、口で伝えることだけが方法ではないということを意識して、笑顔と行動で感謝の気持ちを表そうと努めました。ボランティア活動を行った際も 笑顔が一番の共通言語という事を心に留めて笑顔で楽しい時間を過ごすことができました。

木下 黎泉 東北学院榴ヶ岡高等学校 1年

台南市青少年訪問団での体験は、一生の宝物です。そんなプログラムを提供してくださった方々に、感謝したいです。私は今回の訪問で多くの体験をしました。どれもが新鮮でしたが、なかでも台湾サポーターとの交流とボランティア活動は特に印象に残っています。

台湾サポーターには各場所で案内していただき、楽しい時間を過ごすことができました。一般の旅行では知りえない通な情報などを知り、より台湾の生活に触れることが出来ました。台湾サポーターとも直接交流し、親しくなったことは大切な思い出です。

台湾で一週間で自分の持つ力に気づかされた場面がありました。それがボランティア活動です。私はずんだもちを作る担当でしたが、ずんだもちを作ったことがない上に言語が通じず、障がいのある相手とどう関わったらいいのかわかりませんでした。しかし、困難な状況下であったからこそ、やり遂げたときに自分の発揮した力を実感することができました。言葉は通じなくとも、気持ちは伝えることができたと思います。

そのほかにも多くの体験をし、感じることも多々ありますがすべてを言い表すことはできません。最後になりますが、今回の体験を通して私の中で大きな変化がありました。仲間とともに活動することにより、喜びや楽しさを感じたことです。またこの経験は将来、人と関わる際に生かしていきたいと思います。

台湾、そしてこのプログラムにかかわった皆さん、謝謝！！



栗原 佑果 宮城野高等学校 1年

私はこの台南市青少年訪問団に参加させていただけると決定してから、期待と不安で出発の日まで過ぎていました。

いざ研修が始まり、私たちはブヌン族の小学校に訪問しました。そこでは、リレーやバスケをしました。自分から小学生に話しかけたいのに、なんて言ったらいいかわかりませんでした。この悔しさは今でも覚えています。それでも一つのことを通して共に楽しみ喜び会えるって素晴らしいなと心を動かされました。



また、台湾サポーターが私たちのために、台南のことについて調べた文字で埋め尽くされた紙がとても印象的でした。これを自分に振り返ってみて、私だったら仙台のことについて説明できないなと思いました。色々な国に目を向けるのもいいけれど、まず仙台について知識がないと恥ずかしいなと思いました。

私は今回の訪問を通して、台湾のよさをもっと日本に知ってもらいたいと思いました。しかし私はまだ高校生なのであまり大きなことはできません。だから、クラス、学年、と徐々に範囲を広げ学校のみんなに知ってもらいたいです。そして将来、自分の好きなスポーツを子どもたちに教えて、その子どもたちを台湾に連れて行ってあげたいです。

最後に、この訪問団でお世話になったみなさん本当にありがとうございました。

今野 有香 仙台育英学園高等学校 3年

今回の台南市青少年訪問団に参加し、台南を訪れたたくさんの方々と関わり、自分の中で台湾に対する今までのイメージが大きく変わったと思います。台南を訪問する前に行われた事前研修を通して台湾の事を学んできましたが、今回のプログラムに参加する以前は台湾、台南についての知識はほぼゼロに近かったと思います。しかし、そんな私も一つの疑問を持っていました。中国と密接な関係にありながらも、台湾は中国からの独立を望んでいる。そんな台湾で話されている言語は何なのか？私は台湾語を聞いた事がありませんでした。しかし、独立を望んでいる台湾は果たして中国語を話すのか？私のこの疑問を解決してくれたのは、台湾サポーターと対面した初日でした。安平古堡へ向かうバスの途中で、隣に座っているサポーターのキナに聞いてみました。台湾では一体どのような言語が話されているのか？キナは中国語と答えました、そして今では若い人のほとんどは中国語だけを話すと私に教えてくれました。台湾では独立を望んではいますが、様々な台湾語、方言、そして部族が多種多様に入り混じる台湾では、共通語として便利な中国語を話すんだと思います。

他には、ボランティア活動で訪れた奇美の方々との交流も印象深かったです。奇美に住む人たちは、普通に生活を送るのは、困難のように見えますが、私には誰よりも心が優しく見えました。玄関で私たち訪問団をあんなに嬉しそうに迎えてくれた彼らのあの顔が忘れられません。そして、一緒にずんだもちやちらし寿司を作ったりした事は私の一生の思い出になりました。言葉が通じないですから会話は出来ませんが、笑顔だけは忘れず、そしたら彼らも私に笑顔で接してくれました。

今回のプログラムに参加して学びを通してたくさんの方々と関わり交流できた事を皆さんに感謝します。谢谢大家！



今野 若奈 仙台向山高等学校 2年

私にとって台南市青少年訪問団は今までの人生の中で一番自分を成長させてくれた一週間です。

私はこの訪問団に参加するまで、あまり外国の方と接する機会がありませんでした。(あるとしたら学校のALTくらい) そのため、台湾に行く前はちゃんと台湾のサポーター達とコミュニケーションをとれるのか不安でした。しかし、現地へ行ってみると台湾のサポーター達が私達のために日本語を話してくれたおかげですぐに不安が消え去り、まるで日本の友達と話しているような感覚で話すことができました。台湾のサポーターが私達と年齢がほとんど変わらないのにも関わらず、私達のためにずっと日



本語を一生懸命話す姿にはとても感動しました。また、台湾のサポーターが言葉の壁をなくしてくれたおかげで、言語は人と人を繋ぐ素敵なものだということを感じることができました。私はこのことから、大学では言語について深く学んでいきたいと思っています。一緒に行った仙台的仲間達も思いやりの心を持ちながら他人と接する人が多かったため、「参加して良かった」と、心から感じました。これからはこの訪問団で学んだ「人と人との繋がり」と「思いやり」を大切にしながら人生を歩んでいきたいです。

この訪問団に関わってくださったすべての方々に本当に感謝しています。
謝謝♡台南

齋藤 菜々子 仙台白百合学園高等学校 2年

今回の旅行の目的は、東日本大震災の支援のお礼と仙台の復興を伝えることだ。しかしこれは訪問団としての目的であり、私個人の目的ではない。私は自分の中国語で現地の人と会話をする事、台湾の友達を5人以上作ることを目的にして行くことにした。何でも目的や目標がないと帰国してからどうだった？と聞かれても、ただ楽しかった～！という感想しかないと思うから、目的があるとなお良い訪問になると思った。しかし友達を作るのが苦手な私は達成できるかどうか不安だった。自分の殻をやぶけるかどうか…

帰国後、私のFBやLINEには台湾のサポーターの名前がズラリと並んでいた。裕に有言実行していたのだった。今でも毎日連絡を取り合いお互いの現状を報告し合える仲間、home(NCP)も出来た。お別れ会で『1年半後、台湾の大学生になる』という宣言をした私のために、中国語を教えてくれる先生(サポーター方)も出来た。本当に感謝すべき出会いに巡り合えて幸せ…♡♡
希望我們一直都是好朋友。送愛到台南～真的謝謝。我喜歡NCP！！



佐々木 絵理 聖ウルスラ学院英智高等学校 1年

楽しみの中に消えない不安を抱えて向かえた台南での一週間。この一週間がこれほどまで、かけがえないモノになるとは思いませんでした。目で見て舌で感じ、肌は焼け笑い合い。多くの経験をすると同時に、たくさんの思い出と仲間ができました。その中でも1番の思い出は障害者施設でのボランティア活動です。初めての活動でとても不安でした。前日夜遅くまで、施設の方全員と楽しむために何度も



確認をしました。

そして迎えた当日。単語単語での会話ではありましたが、施設の方とお話することもできました。そして、施設の方と一緒に楽しくずんだもちを作ることでもできました。出来上がった料理を食べ、「美味しい」と言う施設の方の笑顔を見た時、とても良い経験をする事ができたと感じました。1 番良かったことは、みんなで笑顔で楽しい時を過ごすことができたことです。

経験だけではなく、多くの人との出会いもありました。たくさんの人と関わることで、自分自身成長することもできました。今回学んだことを仙台と台南のために生かしていきたいです！！

佐藤 華織 常盤木学園高等学校 2年

今回の訪問団に参加し私はひと回り成長して帰ってくることができたと思います。

訪問するにあたり私は2つ目標を立てていました。震災でお世話になった台湾の人々に元気な姿をみせること、そして食文化の交流をすること。今思い返してみるとどちらも達成できたのではないかと思います。ボランティアとして日本食をふるまったとき、最初は言葉が通じないからどうやって教えたらいのかなど不安ばかりだったけれど、笑顔と身振り手振りで上手く伝えることができました。ちらし寿司の素は評判が良く「便利だし、台湾でも買えたらいいのに…」と言われとても嬉しかったです。また「美味しい！」と言っておかわりをしてくれる姿はとても印象深く心に残っています。この企画を通じて、ほかの国でも日本食の素晴らしさを伝えていきたいという新しい目標も出来ました。

1 週間さまざまな台湾の料理を味わい、最初は慣れなかった台湾独特の香辛料の匂いと甘い味付けも日本に帰ってみればとても恋しいものです。イノシシの肉、鴨の血のスープ。名前を聞くと食べたくなくなるので何も考えず食べるのが1番だとはよく分かりました（笑）

6 期のみんなと過ごした1 週間はほんとにあっという間で毎日が充実したものでした。できるならもう1 度このメンバーで台湾を訪れたいです！



佐藤 健伍 泉高等学校 2年

男子が3人…とても肩身の狭い台湾訪問になるのかと、初めてみんなに会った時そう感じました。自分はフレンドリーに接するのが得意ではないのですが、このままだと男としてのプライドが…！と思い、意を決してなるべくいろんな人と喋るようにしました。でもやっぱり女子はわかりません。難しいっす。



みんなそれぞれ個性をもっていて、その人たちを知れば知るほど台湾訪問がより楽しくなりました。女子っぽくない女子もたくさんいたので僕としては過ごしやすいかったです。

男子3人は、似てるようで似てない3人でした。物静かなのかなと思った黎泉がだんだん荒ぶりはじめたのには驚きましたね。ひろたかは僕と同じ大学の同じ学科志望だと聞き、とても親近感がわきました。

海外に行くという刺激は僕にとって大きなものです。コンビニでアクエリアスのペットボトルが580mlという何とも不自然な量に、ああ、これが海外なのだ、と感動しました。

今回の台湾訪問を通して、人と関わることの楽しさや大切さを感じることができたと思います。サポーターのみんなの語学力には驚愕し、また同時に自分も同年代なのだからできないことは無いのだと、自信を貰いました。また台湾の歴史文化に触れることができ、台湾が身近に感じようになり、さらに台湾への興味や感心が湧いてくるようになりました。この経験を大切にして、今後世界で活躍出来るような人間になれるよう、精進していこうと思います。

佐藤 凧紗 仙台育英学園高等学校 1年

私は、台南市青少年訪問団に参加することが決まってから台湾へ出発するまでは、知らない人たちの中で一緒にやっていけるのかという不安でいっぱいでした。しかし、実際に台湾に行くと自分が抱いていた不安もすぐに消え、毎日笑顔でいっぱいのとても楽しい8日間を過ごせました。台湾では、ボランティア活動や原住民の生活体験、夜市や台湾の茶道体験など、日本ではできない経験を多くすることができ、文化や習慣の違い、台湾の美しさを自分の肌で感じ、吸収することができました。また、今回台湾へ行ったことで客室乗務員になるという自分の将来の夢をはっきりさせ、この夢に向かって進んでいく勇氣と自信を持てるようにもなりました。台湾で過ごした8日間も私にとって自分自身を成長させてくれた8日間でもあり、最高の仲間と絆を深めさせてくれた8日間でもあり、私の中で今でもキラキラ輝いています。最後に、このプログラムを実施するために携わって下さった全ての方々、第6期のメンバーにとっても感謝しています。本当にありがとうございました。



佐藤 広崇 仙台第三高等学校 1年



私は外国に行くのはこれが初めてであり、非常に不安な気持ちのなか台湾での研修が始まった。始めは慣れない事も多く苦労をしたが、台湾の様々な文化を学び、しっかりと台湾に対する理解を深める事が出来た。全体として、大変充実した内容であったと思う。この経験を自らの糧として、これから国際社会でも活躍出来るような力を養い、自分を成長させていきたい。

中鉢 萌寧 東北学院榴ヶ岡高等学校 1年

私は一年生ながらも団長として台南市青少年訪問団6期に参加しました。このプロジェクトは復興を担う人作りこそ経済支援にも勝る最も確かな支援である。との考えをもとに三年間で三百人の青少年を台南に招待させていただくプログラムです。私がこのプロジェクトに参加したいと思った理由は台南市を訪れ人々との関わりを通して異文化理解を深め、東日本大震災の支援をして頂いた感謝の気持ちを直接現地の方々に自分の口から伝えたかったからです。また、今仙台が復興に向かっていく様子を伝え両市の架け橋になりたいと思ったからです。実際八日間台南に行って沢山の事を学び、考えさせられ、自分の人生をより豊かにする事が出来ました。文化の違いに驚いたり、慣れない部分もあったけれど、私達をととても暖か



く歓迎してくれた台南の人達が大好きです。特にサポーターにはとても感謝しています。頑張って勉強してくれた日本語で私達と沢山喋ってくれたり、買い物で困った時は助けてくれたり。お別れ会のときは別れる寂しさのあまり号泣してしまいました。これからも交流を続けたいです。本当にありがとう。
謝謝台湾♡謝謝台南

中澤 恵 仙台白百合学園高等学校 2年

私は、この訪問団に応募するまで、台湾についてほとんど何も知らなかった。だから「台湾は東日本大震災の時に世界一の額の義援金を日本に送ってくれた」ということを知った時、私は初め本当に信じられなかった。それは、日本が以前台湾のことを50年間も植民地にしていたという事実が、心に引っかかっていたからだった。つまり、私は台湾には親日の人が多いということを、心のどこかでは疑ってかかっていた。

しかし、実際に台湾に行って、台湾では本当に多くの方が日本に好意を寄せてくれていたのだと強く感じた。日本のものの多さにも驚いたが、何よりも人があたたかかった。今回私たちの世話をしてくださったサポーターの方々をはじめ、現地で出会った店員さんや通りすがった人なども、私たちに本当に良くしてくださった。



私は、これまでこんなにも日本に好意を持ってくれていた台湾についてよく知らなかったことを、心から恥ずかしく思った。そして、これから日本と台湾が、もっともっと互いに近い存在になってほしいと思った。

そのためには、政治家が行う外交だけに任せるのではなく、私たち一人一人が主体的に行動していくことが大切なのだと思う。だから私は、以前の私のようにまだ台湾のことについてよく知らない私の友達に、台湾や台南市の良さを沢山伝え、広めていきたいと思う。そして、今回出会えた人たちと、これからもずっと繋がりを続けていきたい。

中野 百紅 仙台白百合学園高等学校 3年

震災後、他のどの国よりもいち早く支援してくれた台南。訪問以前は、なぜ台湾の国民は統治されていたにも関わらず日本に対して良い印象を持っているのか不思議であった。第6回台南市青少年訪問団に参加し多くの台南の人々と出会い、交流したことでその理由が理解できたのではないかなと思う。

日本人によって作られた建築物をいくつも見学してみて、実際に台南の国民は日本に感謝していると私の班の大学生サポーターが教えてくれた。また、ちょっとした商店街で食事をしたり、お土産を買ったりする時には「ニーシーリーベンレン(=あなたは日本人ですか。)」と聞かれ応答すると笑顔を向けてくれたり試食をたくさんくれたりと『日本人』である私たちを様々な方法で歓迎してくれていた。

今も日本を好いてくれているのは日本人の統治の仕方が良かったからだと言われているが、それ以上に台湾の国民の心の温かさこそが一番の理由であろう。

これからは、この台湾の国民の心の温かさを仙台に、日本に、そして世界へと発信することにより台南で出会った全ての人々への恩返しとしたい。この仙台と台南の交流が何らかの形でいつまでも繋がっていてほしいし、繋がっていききたいと思う。



蜂谷 麻衣 仙台第三高等学校 2年

この一週間、2班のみんなは可愛くて、本当におもしろくて腹筋崩壊でした。どこまでも個性的で自由なメンバーで新鮮でした。部屋に戻るとルームメイトと1日を振り返って、くだらないことに笑って、笑い方も似てきたよね♡NCP は本当に最高♡ボランティアでは不安いっぱい準備してもしたりなかったけど柔軟に動けたし、きちんと感謝を伝えられたと思う。苦を共にしたからみんなとの絆も強くなりました！サポーターさんの努力も感じる場面がたくさんあって、本当に感謝はつたえきれません！古跡の説明ちゃんと覚えています！

ダムを作ったのは東北の人ではないけど日本に感謝したくて復興援助したという話をきいて、つながりというのは世代を経て、長く続いていくのだと感激しました。私は今回の恩をサポーターさんに限らず台湾のみなさんに返したいし、台湾と日本の架け橋になれることを強く望みます。そんなことを考えているとまた涙がでくるのでこの辺で・・・。

500字なんかじゃ書ききれない！一人ずつ紹介していきたいくらい素敵なメンバーで心身共に成長できた1週間でした。なにより台湾が大好きになりました！復興支援の感謝を伝えにいくはさすが、頂いたものの方が大きい気がします。本当にみなさんありがとうございました！この経験は一生の宝物です(^-^♡) 謝謝



日野 友香 尚絅学院高等学校 2年

私はこの台南市青少年訪問団で台湾の事だけでなく、たくさんの事を学びました。その中でも特に心に残っているのは、夜市と先住民の村、お別れ交流会です。

夜市では、日本では見た事のないような食べ物ばかりで、驚きっぱなしでした。食べ物だけでなく風船を割るダーツなどのゲームがあり、とても楽しかったです。



先住民の村では、ブヌン族の方々の歌声がとても綺麗で感動しました。イノシシを食べたり、みんなで手を繋いで踊ったり最高の時間でした。

最後にお別れ交流会では、ダンスを披露してくれたり、ゲームで罰ゲームがあったりと、最初の方はずっと笑ってばかりでした。スライドショーが始まって、お別れ会だという実感が湧き、とても悲しくなりました。歌っている時、サポーターとの多くの出来事を思い出し、涙をこぼしてしまいました。

この一週間は今までに経験した事のないくらい濃く、充実していました。この企画に参加出来て本当に幸せでした。最高の思い出です。

平山 りの 常盤木学園高等学校 1年

沢山の事を吸収し、歴史を学び、美味しい物をいっぱい食べて、沢山笑った一週間。こんな素晴らしい一週間は今まで一度も体験したことがありませんでした。

1日1日がかけがえのない宝物になりました。

その中でも特に貴重な体験をしたのが、障害者施設へのボランティア活動でした。前夜の遅くまで話し合いをし、リハーサルをし、ボランティア活動を成功させるため最後まで念入りに準備を頑張りました。

た。施設では色々な年代の方がいて、上手くいくかとても心配でした。

しかし、急入りな準備のおかげでゲームもスムーズにでき、何より皆で楽しむ事が出来ました！施設の方も皆喜んでくれて、その笑顔を見た時、準備できて良かった、辛かったけど、ここまで頑張ってきた甲斐があった。と心の底から感じました。

ボランティア活動だけではなく、この一週間で沢山の事を吸収しました。素敵な出会いもありました。この経験を日本に持ち帰ってきたので、日本の沢山のの人に伝えて広めていきたいです！！これからがまた新たなスタートだと思い、私自身も頑張っていきたいです。台湾愛你！謝謝！！



三浦 梓香 仙台育英学園高等学校 3年

これは先住民の村での1枚です！みなさん、とってもフレンドリーでかわいくて子どもたちとも、とても仲良くなりました！友達になってくれた瞬間は忘れません(笑)



先住民のみなさんは、本当にたくさんのおもてなしをしてくれて、楽しいひとときを過ごすことができました。だからこそ、その場を離れるのがすごく辛かったです(T_T) 伝統の楽器や踊りも一緒に踊れて一員になった気分でした♪

6期のみんなに会えて楽しい思い出をたくさん作ることが出来て本当によかったです！大家謝謝！

安田 愛 仙台第三高等学校 1年

たくさんの人に出会って、たくさんを経験をしよう！と心に決めて参加した訪問団でしたが、旅の始まりは緊張と不安でいっぱいでした。しかし、台湾行きの飛行機に乗ったあたりから徐々にテンションが上がっていき、台湾についたころには出国前の気持ちはすでに吹き飛んでいました。

それからの出来事は楽しいことばかりで、書きたいことは山ほどあります。中でも、班のみんなと過ごした時間はかけがえのない宝物です。時間の経過とともに隠された本性が露わになっていった(笑) 一班は、面白くて優しい人ばかりでした。そして、そんな私たちをまとめてくれたコウさんには感謝してもしきれません。出会い頭にドッキリをしかけられたときは本当に驚きましたが、今となってはいい思い出です。みんなで食べたり話したりしたことの一つ一つが忘れ難く、思い出すたびに、一班の一員でよかったとしみじみ感じます。

8日間という短い時間ではありましたが、各地を巡り、様々な人と触れ合う中で、多くのことを学ぶことができ、非常に有意義な旅となりました。この経験を仙台と台南のさらなる友好のために活かしていきたいと思います。訪問団を通して出会った全ての方々に、謝謝！



山内 乃子 仙台白百合学園高等学校 2年

今回、台南市青少年訪問団に参加させていただきありがとうございました。この訪問団に関わったすべての方に感謝の気持ちでいっぱいです。普段の生活では出来ない貴重な体験ができ、とてもいい経験となりました。中でも印象に残っているものがいくつかあります。

1つ目は、障害者施設でのボランティア活動です。私はゲームを担当することになり、一緒にグループの人達と夜遅くまで考えて、準備をしました。当日は手遊びとボーリング、爆弾ゲームをし、とっても盛り上がり、Jasonさんの提案でフォーチュンクッキーを踊りました。その後に私達にも台湾で有名なダンスを踊ってくれて、本当に嬉しかったです。終わった後の充実感と達成感は何にも変えることのできない経験となりました。



2つ目は、花園夜市です。台南には小吃(B級グルメ)沢山があり、今回楽しみにしていた場所の1つでもありました。

夜市では、臭豆腐や鳥の足や鴨血、炸蟋蟀(コオロギの揚げたもの)、蓮霧など日本では食べることのできないもの美味しい物を食べることができ、台湾の食文化を学ぶことができたと思います。

これから私が経験した事をできるだけ多くの人に話し、台南と仙台的交流を広め、もっと交流を深くしていきたいと思いました。

山本 路 仙台第二高等学校 1年

高校入学以来、毎日をただなんとなく過ごしていた。多趣味で、博識な仲間と切磋琢磨する日々において、勿論学ぶものは多かったが、その分失うものも多かったと思う。自分はこの一年、どのくらい成長できたのか…ずっと考えていたがその答えは出せずにいた。そんな中で参加したこの研修は、私に広い世界を見せてくれた。

その中でも、ボランティア活動で訪れた障がい者施設での事が特に印象に残った。障がい者、として私が想像していたのは、言葉が悪いかもしれないが「自分の力で何かを成し遂げられない人」だった。しかし、それぞれが料理だったり、掃除だったり自分の得意なところで輝いていた。実際に私はアクセサリー作りが得意な女性からミサガを貰った。網目はとても細かく、私には到底作ることのできないような物だった。

震災時の支援への感謝を示すために訪れた台湾で、私達はそれこそお金では買うことのできない、人々の優しさに触れ、私達が台湾に残してきた物の倍以上の物をもらった気がする。それらは私達の心の中で、きっと何十年後も色褪せることのない「たからもの」になることだろう。

そしてこの研修では本当に仲間に恵まれ、助けられた。一人一人が輝いた6期。出会いに感謝！みんなありがとう！謝謝台南



和田 遥花 聖ウルスラ学院英智高等学校 1年



一週間という短い期間でしたが、本当に充実した毎日を経ることができました！台湾の文化に触れ、台湾の人の暮らしを体験し、日本とは違ったものを感じました。またサポーターさんたちや、仲間の皆との絆も深まりました！この経験をいかして、これからも積極的に世界で活躍したいと思います☆

渡邊 絢香 仙台東高等学校 2年

この訪問団に参加して様々な体験ができました。私は今まで様々な交流や研修に参加してきましたが、ほとんど全員が知らない人で活動する機会はあまりなかったので、楽しみの反面とても不安でした。ですが、一緒に活動してみると皆優しく、面白かったので楽しく過ごせました！

特に楽しかったと感じたのは、ブヌン族の所に滞在した時と海に行った時です。皆で体を動かし、たくさんコミュニケーションとれたと思います。今でも思い出すとその時の楽しい気持ちになります。この1週間で台湾のサポーターや皆と仲良くなれて嬉しかったです。

私は初めての台湾だったので、言語の壁などが心配でしたが台湾のサポーターの皆さんが通訳してくれたり、中国語を教えてくれたおかげで様々な人と交流することができたので本当に感謝しています。日本のサポーターの皆さんも悩みや不安がある時、話を聞いてくれたりしてくれたのでいつの間にか不安がなくなっていました。普段ではあまり気が付かない優しさや感謝の気持ちに気が付いたりする事ができました。また、班活動を通して集団行動を学び自分なりに考えることができ、楽しく活動できたと思います。

この経験をこれからの社会生活に活かしていきたいと思います。



ボランティア活動

現地2日目、福祉施設の財団法人天主教台南縣私立 蘆葦啟智中心（Luway Opportunity Center）にてボランティア活動を行いました。ちらし寿司チーム、ずんだ餅 DIY チーム、ゲームチームに分かれて施設の方と交流しました。

ちらし寿司チームでは、一緒に野菜を切り、ずんだ餅 DIY チームでは枝豆を潰したり白玉を作ったり、ゲームチームは外でボウリングゲームなどをしました。施設の先生からのアドバイスでもある「笑顔」を心掛けて活動しました。また、ちらし寿司やずんだ餅が完成した後は、全員で昼食の時間に食べました。

この活動で感じたことを、ボランティア活動グループのメンバーで報告します！

かおり

私は今回の訪問団で日本食の素晴らしさを台南の皆さんに伝えたいと考えていました。ボランティアではただ食事を振舞うのではなく、一緒に作ることができ、施設の方々にはより分かりやすい形で伝えられたのではと思います。自分の言葉ではうまく表現できないことも、笑顔とジェスチャーで伝えることができました。

活動するなかでお湯が出なくなったり問題もありましたが、みんなで声を掛け合い、知恵をしぼったこともまたいい経験でした。みんなで作ったちらし寿司やずんだもちらは好評で、おかわりもたくさんしてくれて、とてもやりがいを感じました。

今回のボランティア活動を通し、私はたくさんの人に日本食を伝えたい！という思いがより強くなりました。将来は世界の人々に日本食と仙台の良さ知ってもらい地域振興ができればと考えています。

ひろたか

私はボランティア経験がほとんどなく、その上障がい者の方々と活動をするという事であったのでとても不安でした。それでも、ここで成功させなければ台湾の方々に感謝の気持ちを伝える事が出来ず、自分が台湾に来た意味がないと思っていたので、より集中して臨みました。それだけに、成功させた時の喜びが大きく、そして何より台湾の方々が楽しんで活躍している姿を見ることが出来たのが嬉しかったです。

この活動は自分にとって良い経験になったと思います。皆さん、ありがとうございました。



あいか

今回のボランティア活動は私にとって初めての経験であり、失敗もたくさんありました。けれども、この活動に携われた事を、そしてボランティア活動が成功出来た事を嬉しく思います。

ボランティア活動のリーダーである私が他の団員への連絡不足で、前夜に話し合いを開く事になり迷惑をかけました。けれども、みんな疲れているのにも関わらず夜遅くまで協力してくれました。

ボランティア当日、私たちは施設の方々から大きな歓迎を受けました。

それぞれの活動に入る前に、私たちは施設の先生のお話を聞きました。私はこの時自分の中で大きな失敗をした事に気づかされました。それは、このボランティア活動に対して不誠実な態度をとっていた事です。施設の先生は施設の方々がどれだけこの日を心待ちにしていたか、教えてくれました。私はボランティア活動の準備を怠けていたと思います、本当はもっと事前にするべき事はあったと思います。奇美の方々に対しても、そして団員にも申し訳なく思いました。しかし、施設の方々はもう一つ大事な事を教えてくれました。それは、笑顔で彼らと接すること。

この事を一日忘れず、笑顔で施設の方々と交流を楽しみました。施設の方々も本当に楽しそうで嬉しかったです。

今回のボランティア活動はみんなの協力、そして笑顔で本当に良いものになったと思います。

私もその活動に携われた事を本当に嬉しく思います。

ぶっきー、ともか

私は今回のボランティア活動で現地に行き、そこの方々と触れ合ったからこそ得られるものがあるということを身を持って知ることができました。

私はずんだ餅を作るチームでしたが、そこで出会った方々は障がいや自分が出来るはずのことを妨げるものとして悲観することなく、自分の得意なことをさらに得意にするステップにしていたのがとても印象的でした。



いの

ボランティア活動は障害者施設に訪問し、震災の感謝の気持ちを、日本の伝統的な料理を振る舞う、一緒にゲームをして楽しむという形で伝えてきました。障害者施設に訪問してボランティア活動をするということにはめったに経験の出来ないことで、きっとみなさんのなかでも、貴重な体験になり、財産になったことでしょう。

ゲームグループは前日、皆疲れているのに、私の準備不足の為、夜遅くまで当日の確認や準備する形となってしまうしました。しかし、感謝の気持ちを伝える。と言う趣旨を誰もが決して忘れず、最後までしっかりと準備をすることが出来ました。そのおかげで、準備してきた事を発揮して、施設の方と楽しくゲームをし、充実した時間を過ごす事ができました！

急遽、フォーチュンクッキーを踊るところになったり、予定になかった事があったりしましたが、皆で臨機応変に対応し、スムーズに進める事が出来ました！そして最後には、私達にお礼として施設の方から歌とダンスのプレゼントがありました。施設の方のキラキラとした笑顔を見てみると、昨日沢山準備してきて本当に良かった。と心の底から感じました。

言葉は通じなくても、笑顔や心で繋がる事が出来るんだ。私はこの経験を持って知ることができました。また、この活動が成功したのもメンバーや、サポーターさんの協力があったからこそでした。本当に皆さんに感謝したいです!!ありがとうございました!!



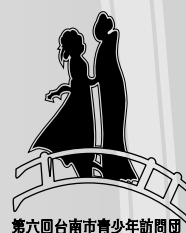
たまき

私はずんだチームのリーダーとして活動していましたが、ボランティア活動が、新しく台南市青少年訪問団の活動として加わり、私たち訪問団、サポーター・スタッフの皆さん、現地施設の方々にとって初めての試みであり、前日の計画の段階から悪戦苦闘していました。実際に行って見ないと分からないことが多々あり、何度も計画を立て直した上で少しの不安を抱えながら当日を迎えました。当日はスケジュール通りにいかないことがありましたが、1番重要な私たち訪問団と施設の人々との交流、言葉やジェスチャーなどを使いコミュニケーションをはかり合うことが出来ました。今回のボランティア活動は台南市青少年訪問団の活動の中で最も内容の濃い活動になったと感じ、また台南市青少年訪問団だからこそ、この有意義なボランティア活動に参加出来たのだと思いました。



台南市青少年訪問団 報告書

フォトアルバム

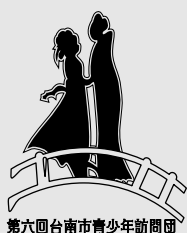


第六回台南市青少年訪問団

第六回台南市青少年







台南市青少年訪問団 報告書

台南サポーターからのメッセージ

第六回台南市青少年

1班 コウ (高廷璃)

「出会いだけで、人生は成り立っておらず
別れだけでも、人生は成り立っていません。
出会いと別れ、両方あって人生は成り立っています。」

多分 facebook でこの言葉を見た人は多いけれど、facebook を使っていない人にも見せてあげたいと思うので、もう一度載せてもらって欲しいです。

皆さんはなんでこの訪問団に参加する理由とかどんな気持ちで台湾へ着たのとかは良く分かりませんが、皆さんが帰ってからずっと「中国語を勉強したい!」、「また台湾へ行きたい」と言うのを聞いて、めちゃ感動しました。この台湾旅に通して皆さんが台湾について興味を持って来てもらって本当に良かったと思っています。やりがいがあると強く感じます。

皆さんと知り合ってからもう2週間が経ちました。あっと言う間のその一週間は私の大学生活の中でもう一つ忘れられない思い出になりました。時間が短いですが、この記憶と絆は心に深く刻んでいます。私は国籍が違っても、言語が違っても、年齢が違っても、一期一会の心を持って行けば人が繋がりますと信じています。

今は離れていますが、幸い今の時代にはインターネットがあります。遠く離れていてもパソコンで、携帯で連絡する事が出来ます。私とずっと連絡をとって下さいね!

では、また会える日を楽しみにしています。



私は、このような活動は初めてで、大学の最後に参加してよかったと思っている。

みんな自分の班があって、ガイドでもあり、友達でもあり、仙台のみんなだけでなく、台湾のみんなともお互いに知らないから一つになった感じがした。国際交流にも人間関係にも、とてもいい経験だと思う。最初は、対象が高校生だから、どうやって接するとか、どうやったら雰囲気盛り上げられるとかいろいろ心配があって、最初の何日もちょっと困難ができた感じがあったが、なんとか心の中の不安を越えた。



うちの班は古蹟より買い物のほうが興味があっても私の紹介とか説明をちゃんと聞いてくれた。時々も、何を考えているか、今の顔はどういう意味が分からないけど、いつも元気で、いつも一番早く集合できる班で、とても助かったんだ。

高校生だからこそ、自分から足を踏み出す必要があるということが分かって、諦めることを考えないで、とりあえず、頑張ってみようと思ってる。嬉しいことに、今もみんなと連絡を取っているんだ。

今回の交流に通して、いっぱい経験があって、いっぱい友達ができて、自分はまた何を越えて成長した感じがする。もちろん、まだまだ頑張る必要があるところもわかって、サポーターのみんなからいろいろ勉強になった。人生で大切な思い出にしたいと思う。

2班 キ/コ (李翌慈)

3班 カーティン (柯廷瑜)

人生の中で、たとえ一回だけサポーターとしてこんな活動に参加できて本当によかったと思いました。私もこの三年も住んでた台南を再認識した。古跡といい伝統的な食べ物といい、私がこれらについて説明して皆は美味しいとかいいねとか言ってくれて、すごく嬉しくて安心しました。

私は3班のサポーターになれて、素晴らしい四人に出会ってかなり幸せを感じています。たぶんこの班の皆はおとなっぽくて優しい個性を持っていて、私が説明しにくいときも詳しく聞いてて、いろいろを助けてくれました。皆と喋ったときもさまざまなことを勉強になりました。私は皆が中国語を練習しながら台南がすきと言ってくださり感謝しました。

短い一週間でですけども最高の思い出になりました。私もいろいろを考えてこの交流活動の意味を分かって来ました。それは、台湾と日本あるいは台南と仙台的絆を深めるようになるために、お互いの文化、習慣を認識して視野を広げさせてできました。今回の交流は大事にしようと思います。





4 班 しょうた (黃智偉)

今までこの一週間の思い出はまるで夢のようで、心に深く刻まれている。この交流団にサポーターとして参加できたのは運命のおかげかなと思っていて、すごく感謝している。最初、面接はなんとか合格できてから、二日間の研修を受けた。一番気になっていたのはどんな人たちに出会うのか、ずっと期待していた。とくに高校生なんだけど、どうやって彼らと対応すればいいのかと心配してしょうがなかった。この活動を通じて、台湾人の情熱と優しさを伝えたいのだ。第六期のみんなはすごく親切で、いい思い出をくれたのはほんとにありがとう。一緒にダンスしたり、台湾風の食べ物を味わったり、海岸で遊んだり、そして離れの日に感想を発表したり。それらの記憶がどんどん出てきて、つい涙が出た。またみんなと絶対に会えるから、約束でこのいい思い出を続けようと思っている！

5 班 キナ (周彤)

今まで人生の中で、最も忘れられない一週間でした。最初このプロジェクトに応募したのは、自分の日本語をよくなるためなのです。でも、この一週間過ぎて、一番得たのは日本語能力じゃなくて、友情です。まさか日本の女子高校生と友達になれるとは、思いませんでした。わたしにとって、みんなと一緒に食事するだけで不思議くらい素晴らしいことです。最高楽しかったです。最初日から最終日まで、みんなとともに、いろいろなことを体験し、台湾は本当にいいところって私はもう一度そう思いました。短い間だけど、みんなと笑ったり、遊んだり泣いたりして、全部の思い出はわたしの宝物です。



6 班 ひとみ (楊以琳)

今回のイベントは私にとって高校の生活の中に最高の経験でした。初めて日本語で台南の歴史を紹介したり、日本人と一緒に旅行したりすることは本当にめずらしい経験でした。このイベントのおかげで、日本語の会話能力は進歩して来ました。仙台から来たみんなと話すときはゆっくり話してくれて、とてもやさしかったです。私も高校生ので、仙台からの学生たちと部活のことや大学に進学することや将来の夢などにいっぱい話して、うれしかったです。仙台から来たみんなと出会ったことはすばらしい経験でした。

7 班 ゆき (吳思慧)

今回のイベントに参加して、すばらしい日々を過ごした。いままでと違って、一週間にずっと日本語で話しました。内向的なわたしにとって、このイベントに参加するのはチャレンジでした。皆がわたしに話しかけてくれたおかげで、他人との接触する機会もどんどん増えました。七班の皆さんも感謝しています。わたしがぼろぼろの日本語で説明しても、彼女たちはちゃんと聴いてくれました。皆ともっとうまく話せるように、わたしもこれから頑張って日本語を勉強するつもりです。皆との思い出はわたしにとって、一生忘れないものです。



この活動に参加できた原因、今思い出してもつい笑顔にするほど不思議なことです。三年生になったばかりな私、葉先生に簡単な説明で誘われて、まだ何も知らずに助手となってしまいました。けれど、思わなかったのはこの活動でもらえた経験、友情、思い出などさまざまなかけがえのない宝物を得たことです。

助手として、第5回から6回、7回にも参加しなければならないことも、助手になって、1ヶ月後のことでした（笑）。初めては第5回にサポーターのサポーターとして参加してきました。もちろん、いっぱい笑顔、泣き顔、思い出を集めて笑って過ごせました。そして、第5回のサポーターは私より、日本語の能力はずっと高くて、経験も多いから、負担なく活動を終わらせました。

今回、経験者、助手として、しなければいけないことが増え、日本語もなかなかうまく話せなくて、本当は不安いっぱいでした。

でも、皆さんと出会って、この不安な気持ちはこの一週間になくなりました。なぜかという、きっと、皆さんと特に気があうでしょう（笑）。日本語はうまく話せなくても、優しく聞いてくれて、理解しやすい言い方で分らせてくれて、本当に感謝切れないほど感激しています。



日本の高校生はどんな感じでしょうか、今この疑問を答えるなら、皆さんは「想像以上大人っぽいと共に元気満々、考えのある、いつも良い笑顔してて、見るだけで気分もよくなる最高の高校生たち。」と思っています。逆に皆さんと遊びたいことを考えてばかりいた自分は子供っぽいです（笑）。

ここでは言い切れない、一緒に体験したこと、思い出の中で、ガイド、交流会、食事、遊び、通訳などを通じて、たった一週間で多く経験がももたらしたのは皆さんのおかげです。これで、さらに決めたことは第7回に、自分の力で台湾の良さ、文化を伝えて差し上げたいと思っています。できるようになるために、これからも皆さんとの思い出を守ったり、楽しく勉強したり充実に行きます。

台湾で日本で、また、会いましょう。

みんなのサポーター はくいん (吳柏霖)



GRACE

(徐香華)



Dear all

I really hope everyone of you had a great memory in Taiwan. Wish the friendship of students and stuffs of Japan and Taiwan can keep close forever.
Come to Taiwan again!



JASON

(陳秋廷)



The outgoing girls and quiet boys really impress me!

I am so glad to meet u guys in Taiwan!!



Although you were here only a week, I was so happy everyday.

Let me have the eye-opening about the different cultures between us.

I am sincerely to be invited you again!

日本人サポーターより



台南市に二度目の訪問をしてから五か月がたった。この五か月間、目まぐるしい生活を送ってきたが、台南で過ごした一週間はことあるたびに思い出され、自分を支え励ましてくれる大切な思い出となっている。

2012 年の 2 月に初めて台南市に訪問した。東日本大震災時の感謝を伝えるというのが一番の大きな目的であったが、奇美財団の方々、気さくに話しかけてくれる台湾の人々、何より現地で案内をしてくれた台湾人サポーターの温かさに触れ、帰国後に感謝の気持ちはいくらも大きくなっていった。もう一度台南市に行きたい、もう一度感謝の気持ちを伝えたい、そう思い今回サポーターに応募した。サポーターはただツアーに参加するのとは違い、苦労することも多くあったと思う。それでも一週間楽しく過ごせたのは、高校生たちの活発さに触れたからであろう。ボランティアする前日、深夜まで考えどうにか想いを伝えようとする姿、原住民の村で楽しく踊る姿、台湾のサポーターとの別れを惜しむ姿、一つ一つの感受性がとても豊かで、彼ら彼女らから勉強させられることはとても多かった。

このツアーでお世話になった全ての人に感謝したい。また、今年の夏は第四期の台湾人サポーターや通訳・先導をしてくれた嶋田俊さんが仙台に遊びに来てくれている。とても嬉しいことだ。台南と仙台の市としてのつながりはもちろんだが、個人の交流をもっと盛んにしていくこと、送愛到仙山のグループを盛り上げていくことが私なりの次の目標だ。



第四期に団員として参加しましたが、最年少ということもあり他の団員やサポーターに甘えてばかりでツアーが終わってから長い間後悔していました。そんな自分を成長させるため、第四期で自分が経験したキラキラした思い出を高校生にも味わってもらおうサポートがしたいという思いから第六期のサポーターに応募しました。

今回私が心がけていたことは「菊池さん・熊田さん・俊さん・奇美スタッフ・台湾サポーターと

高校生を繋ぐこと」でした。これが想像していたよりもとても難しく毎日苦戦していました。他の人の思いをくみ取って自分の言葉にし、また違う人に伝えるということは簡単なことではありません。ですが、人と人を繋ぐことが簡単ではないと思うことができたことは私がサポーターになって成長した点だと思います。

このツアーも残り少なくなってきましたが、縦の繋がりをもっともっと深めていけるように努力していきたいと思っています！

謝謝台南☆また会いましょう！



同行者より

台南市への訪問を終えておよそ4か月が経ったころ、「無理なお話かもしれませんが…」という件名で始まるEメールが届きました。それは、2014年8月1日に発生した台湾・高雄市でのガス爆発事故について、これまでに「台南市青少年訪問団」に参加した人たちで支援活動をしましょう、という団員の一人からの提案でした。これがひとつのきっかけとなり、これまでの団員や仙台に在住する台湾人留学生の有志らが仙台市の中心部商店街で街頭募金を行ったところ、1日だけの実施にも関わらず209,979円と371台湾ドルもの寄付金を市民からお預かりました。私たちの活動は支援としてはほんとうにささやかなものでしたが、この活動を通じて東日本大震災における台湾からの支援に対する仙台市民の感謝の気持ちをあらためて知ることになりました。そして、「台南市青少年訪問団」を通じて培われた台南市と仙台市の青少年の絆を実感することができました。



本事業を通じて生まれた絆が将来に向けてさらに深まっていくことを願うとともに、今回の訪問にあたってご尽力くださいました奇美グループ、樹谷文化基金会、台南市政府はじめとする関係者のみなさまにあらためて心から感謝申し上げます。

菊池哲佳

公益財団法人仙台国際交流協会

台湾の京都。まさにこの言葉が似合う台南市。歴史的建造物や町並みや食べ物などは、高校生の目にはとても新鮮に映ったことでしょう。なかでも、朝から夜遅くまでサポートをした台湾サポーターの姿は、団員の心にととても大きく響きました。自分達の年齢とさほど変わらない大学生と高校生が、日本語を使って台南の事を紹介しているのを見て、今度は中国語で仙台を案内したいと思った団員も多くいました。人生観が変わったという団員もいました。

今回は初の試みとして、福祉施設でボランティア活動をしました。ハンディキャップを持つ方々との交流、慣れない場所での活動は、予想外の連続でしたが、アイディアを出し合い、乗り越えることができました。苦勞を乗り越えたせいか、これをきっかけに彼らの団結力が強くなったように見えました。日に日に団員と台湾サポーターの友情が深まる姿を見て、彼らが歳を重ねても、またこのように集まってほしいと思いました。この回限りだけではなく、SNSなどの様々なツールを利用して今後もさらに交流を続けていけたらと思います。

また、そこに人と人との友情や絆があってこそ、都市と都市との交流も成り立つのではないかと今回の訪問で思いました。この訪問団に関わってくださった皆様に改めて感謝申し上げます。謝謝。

熊田夏希

公益財団法人仙台国際交流協会





編集後記

初めは皆お互いに知らない人ばかりで、緊張した雰囲気の中での活動でしたが、事前研修などでだんだんと打ち解けられ、今では皆かけがえのない時間を過ごした仲間となりました。この訪問を無事遂げることができたの

は参加した 26 人だけの力ではなく、この機会を与えてくださった台南市と SIRA や、それに携わったたくさんの方々のおかげです。私たちのことを、たくさんの苦労を重ねながら考えてくれた菊池さんや熊田さん、成さんにゆっこさん、そして台南サポーターとグレースさん、ジェイソンさん、嶋田さんに深く感謝しています。



台南や台湾の歴史や文化など、たくさんのことを学ぶことができました。それぞれ特に記憶に残ったこともあると思います。台湾の食べ物や生活様式は私たちにとって未知のものばかりで、台湾を直に感じたことが自分の夢や目標に大いに影響した人もいます。この台南訪問は

私たちの今後の人生にとって、とても貴重な経験となりました。これからもこの経験を通して学んだことを、いろいろなことに役立てていきたいです。

この訪問団を通して、国際人としての一步を踏み出せたと思います。私たちは異国文化をじかに触れることでより様々な思いが芽生え、さらに新しい自分への一步へと踏み出そうとしています。この思いを大切に、新たな可能性へと進んでいきたいと思っています。ほんの短い間でしたが、とても楽しく、充実した日々を送ることが出来ました。この出会いに、深く感謝したいです。



送愛到仙台



第6回台南市青少年訪問団 報告書

編集・発行 公益財団法人仙台国際交流協会

〒980-0804 仙台市青葉区大町2丁目2-10 仙台青葉ウイングビルA棟11階

TEL:022-265-2480 FAX: 022-261-0611

E-mail: plan2@sira.or.jp HP: <http://www.sira.or.jp>
